

天文学と プラネタリウム

第52回



今月のお題

■新しくなった仙台市天文台でもATPは大人気！

エコ星見は地球を救う？



エコ商戦真っ盛りの昨今。宇宙を見ながら地球を考える、そんな星見生活の提案です。



www.tenpla.net

高梨直紘 (国立天文台 広報普及室)

平松正顕 (台湾 国立清華大学)

宇宙視野で見る環境問題？

天文学の面白さを広く知ってもらいたい。関心のない人にも振り向いてもらいたい。天ブラではそんな意識を持っているわけですが、そのためには世の中の動きを注視して、適切なタイミングと方法で企画なりグッズなりを提案していかなければいけません。じゃあ今のトレンドは何だろうか？ と考えると、ひとつは「エコ」じゃないでしょうか。

環境問題が大きな話題になった北海道洞爺湖サミットが終わって一か月。エコという名を冠したエコ商戦は激化していますし、CO2削減がニュースの話題に上らない日はないくらいです。これは参加せねば。

星見とエコをなんとかつなげられないかと思って、ちょっと考えてみました。部屋のエアコンを消して、近所の公園にでも行って1時間ほど星を眺めてみることにしましょう。エアコンの消費電力は、某メーカーの最新式12畳用では850W。もちろん機種によって違いますが、そこは天文学者の概略計算ということでご容赦を。延べ

1000万人が1時間外出したとするとそこで節約できる電力は、 $850W \times 1時間 \times 1000万人 \div 平均世帯人口2.5人 = 340万kWh$ 。手元の資料によるとCO2排出量(kg)はこれに0.44をかけるとよいそうなので、結果は1500トン。洞爺湖サミット開会の7月7日に全国76,000か所で行われたライトダウンで削減されたCO2は470トンらしいので、その3倍近い効果があるようです。いやー、エコですね。8月のスターウィーク、ペルセウス座流星群の極大日、星座の観察がテーマの小学生の夏休みの宿題、全部エコ。そうやって考えると、いやあ、星見ライフはすばらしく地球に優しいですね。大企業の皆さん、政府の皆さん、いかがですか？一緒に星見を推進しませんか？

ちょっとエコブームに悪のりしたくなっている天ブラの面々ですが、光害や電波の垂れ流しなど、天文学を愛する人間だからこそ見えることは少なくありません。これらの不経済を多くの人が意識してくれることで環境改善が達成できるなら、エコブームどんと来いです。もっとも、必要以上にブームに踊らされないよう、大きく視点から冷静に世界を眺めることを忘れずにいたいものです。望遠鏡で月や惑星や遠くの

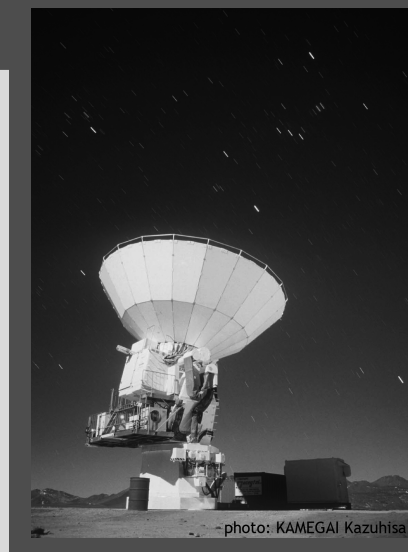


photo: KAMEGAI Kazuhisa

電波望遠鏡がじっと見上げる先は、宇宙の不思議であふれています。私たちが夜空を見上げ、綺麗な星空を取り戻しましょう。

星団を眺めながらこの宇宙の中での地球の存在を考えてみるからこそが、一番この星のためにやるのかもしれないと信じてつづ。